

2024 年度 第 1 回理事会 議事録 2024.4.18

日時：2024 年 4 月 18 日（木）19：00～20：35

開催方式：オンライン開催

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本雅一（副会長）、奥原孝幸、遠藤陵晃、
澤口勇、神田崇央、神保洋平、金山桂、佐藤隼、佐藤範明、山勢健太郎、野本義則、青木啓一郎、
佐々木秀一（15 名）

出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2 名）

欠席理事：玖島弘規（事務局長）、望月強併

I. 会長より挨拶

今年度、組織改編に向かってプレ運用が始まります。総会に向けて様々な準備をこれからしていくところであり、今年度は臨床大会、来年度は県学会を予定しており、組織運営委員の方々とお話をしています。そちらも共有させていただきながら、進めていきたいと思っております。今年度皆様の協力をいただきながら県土会を進めていけたらと思っておりますので、本日の理事会もどうぞよろしくお願いいたします。本日玖島事務局長が不在のため、進行は田中副会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

II. 審議事項

1. 後援依頼（事務局）

・日本ケアマネジメント学会第 23 回研究大会

→賛成多数で承認

2. 神奈川県 精神障害者スポーツ大会 実行委員会委員の推薦依頼

現委員である「古賀 誠氏(昭和大学)」より内諾済み

→賛成多数で承認

3. 部員申請（事務局）

・教育部、MTDLP

→賛成多数で承認

4. ウェブサイト管理委員会 委員の退任（事務局）

・浅井翔伍氏（自己都合による退任）

・千葉美並氏（居住地変更に伴う退任。非会員となるため）

→賛成多数で承認

III. 2023 年度期末監査報告について

野々垣監事より

4 月 6 日に期末監査を実施した。概ね健全に遂行されていたが、いくつか改善の検討をしたいため、該当の部や委員会には連絡をいれていく。

- ・出納帳の領収書番号と実際の領収書番号が合致していないまたは番号自体が記載されていないものがあるため、予め提出前に確認をすること。
- ・議事録に記載されている参加者数と会議費の支払金額が一致していないものがあるため、提出前に再確認すること。
- ・通帳残高と決算書の残高が合わないことがあったが、定期的に残高の確認をお願いしたい。

・銀行振込を行う際は代金と振込手数料を別に記載する。例えば、¥10,000 振り込み、手数料¥400 の場合、¥10,400 というような処理になっているが、振込金額と手数料は勘定項目が異なる。会計マニュアルの手順に沿って書類作成をしてもらいたい。

錠内監事より

特に初歩的なミスが多くあった。マニュアルをもう一度見直してもらいたい。現在の監査のやり方は、監事を含めて間違いを探している状況だが、本来の監査において、間違い探しは監事が監査をする前に終了していただければならないことも指摘されているので、今後は前段のマニュアルに沿ったやり方を行ってもらいたい。

望月理事より(田中副会長代読)

財務から修正依頼を随時配信しているので対応をお願いしたい。期限については設けていないが、事務局が総会まで忙しく煩雑になっていけないので、差し替え作業は総会後になると思われる。

IV. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 事務局

(1) 事務局員の採用について

事務局員の増員を目的にハローワークへ求人票を提出。合計 8 名の応募があり、内 6 名について 4 月 6 日、4 月 11 日に神保会長、玖島事務局長にて面接を実施した。面接の結果、2 名の採用を決定し、内定通知を送付している状況。勤務については 5 月 1 日付けを予定している。

神保会長より

採用に関して、面接項目として全部で 7 つ～8 つの項目で採点表を使用して、性格、態度、素直、正直、言っていることが間違っていないか、健康、協調性などで評価をした。合格した 2 名は 10 点満点であった。その他応募者も働く意欲はみられたが、健康面で不安がある方もいた。実際に合格した 2 名の方には事務局に足を運んでいただき、事務局員にも対応いただいた。雇用希望も伺い、現在武内さん、鎌田さんが行っている業務を今後行っていただく予定。1 名は今年度週 1 程度で勤務し、次年度で正規雇用、もう 1 名は週 3～4 程度の勤務予定。

(2) 2024 年度理事会・三役会開催日程について（メール配信済み）

事前に配信した日程において「よんぱち」と被っている日があったため、再度調整を行い改めて日程を配信する。

(3) 社員総会について

今後当日の役割分担表を作成し、事務局から配信予定。受付や会場配置、誘導など協力を得ながら進めていく。事務局から部員を出すのが足りない場合は各部や委員の協力をいただく可能性があるためその際は改めて事務局からお願いさせてもらう。

2. 制度対策部

(1) 神奈川 DWA T（Disaster Welfare Assistance Team：災害派遣福祉チーム）への参画に向けた進捗

4 月 11 日付で神奈川県作業療法士会は、神奈川県と協定を結ぶことができた。神保会長と黒岩知事のサインが入ったものを後ほどメーリングリストで回覧するので確認をお願いしたい。またぜひ神奈川県のホームページで“DWAT”を検索してみたい。4 月 1 日付でネットワーク構成団体に神奈川県作業療法士会の名前が入っている。今年度の研修予定も出ており 7 月ごろの予定で、その研修会の出席者を今後神奈川県作業療法士会で推薦することになり、その研修会にでることによって神奈川 DWAT のチーム員になる流れとなっている。随時災害対策班を通して候補を決めていきたいと思う。例えば避難所の障害者の対応になるので認知症班の方々や福祉用具班の方々などぜひお願いできればと考えている。

3. 学会評議委員会

(1) 第 19 回県学会収支報告について

収入：事業費 2 年間で¥1,600,000×2 回で¥3,200,000

WEB 参加の非会員の方 165 名が参加し、¥495,000

ワークショップの収益¥34,000 その他あり、合計：¥3,729,013

支出：余剰金¥1,069,435(財務部に戻っている金額) 合計：¥3,729,013

田中副会長より

現在第 20 回の神奈川県作業療法士学会や臨床大会についても進んでいる。

神保会長より

第 6 回臨床大会は現在運営委員が取り組んでいる。演題登録が始まっているので、皆さんの職場の若手が参加できるようにアナウンスをお願いしたい。また第 20 回の神奈川県作業療法学会は記念の県学会になるのではないかと考えている。節目で我々が作り上げてきた県土会の唯一の大きい大会となる。今回は中西先生が学会長となり、運営委員が様々なことを検討している。先日運営委員の方々と打ち合わせをして、我々理事会も学会の運営組織の在り方、そのマニュアルにもう一度向き合ったほうがよい事案があった。独立したひとつの学会運営組織であることを再確認し、理事会はそれをサポートしていく、また今後マニュアルの整備を進めていく必要性がある。5 月は社員総会があるので、学会運営の有るべき姿を当日お話をさせていただく。

4. 遠藤理事

(1) 地域リハビリテーション三団体協議会について

神奈川県の訪問リハ実務者研修会の企画運営を主に活動。(10 年前より)

ここ最近では地域包括ケアシステムとして訪問リハの育成のみだけでなく様々なことを実施。しかし事実上は訪問リハ関係が多い。コロナ前は訪問リハの学術集会を全国初で実施していた。現状 9 名で実施している。

・ 3 月 13 日に相談役会を実施済み。OT 士会から神保会長、田中副会長、吉本会長の 3 名が出席。

PT 士会は内田会長はじめ 6 名、ST 士会は金井会長が参加。

三団体から遠藤委員、佐藤隼委員の計 16 名が参加。

議題のメインは令和 5 年度の事業報告と令和 6 年度の事業計画。

事業報告については 4 年ぶりに訪問リハ実務者研修を実施した。(現状あった予算を使いつつ実施。)

また運営会議を実施した報告を 3 会長に報告した。

・今年度の事業計画については松本会長から説明があった。新規の事業所や若手セラピストのニーズに応えること、三団体協議会の再組織化を実施予定。元々、実施していた訪問リハ実務者研修、初任者研修も行っていくことを提案。承認頂いた。

・リハ手帳について

澤口理事から出ていた内容を 3 士会に報告させて頂いた。

・神奈川県言語聴覚士会

金井会長から来年度中に法人化する予定であることの報告があった。

三団体協議会は任期 2 年のため、2 年ごとに委員の選出をしている。今年度より新体制となっている。2024 年度は船橋会長で動いていく。佐藤理事、遠藤理事は継続となっている。

第 3 水曜日を基本に運営会議を実施予定。

(2) OT 協会主催地域支援事業会議について

47 都道府県の代表者が会議を実施している。

よんばち会議と並行して行われている。

3 月 3 日の会議では、地域支援事業会議、総合事業の在り方について、OT 参画実地調査について、市町村担当者配置事業カタログについて話し合われた。

(3) OT 協会 地域社会振興部 B ブロック会議について

第 3 回の地域事業支援会議の振り返り、日本作業療法士協会 5 カ年戦略の 8 つの事業を改めて各都道府県の代表者に説明をした。

5. 田中副会長

(1) 2023年度 第2回神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会について

県のレベルで計画を進めている段階。

(2) 第4回協会長・都道府県士会長会議（よんばち）（2024.3.9実施）について

会議は3月9日に実施。災害関連、政治についての話の発信があった。診療報酬改定、組織率について話し合われた。協会の理念が今までなかったため、今後作っていく予定。2024年度についても4回実施予定のため、Zoomであれば参加可能であるため、是非参加をよろしく願います。

V. 代議員との交流・意見交換について 吉本副会長

新入会員オリエンテーション：6月23日(日)イムス横浜国際看護専門学校にて行われる。

オリエンテーション前の10:20~11:20で自己紹介やテーマを決めグループに分かれて意見交換を実施予定。事業費は福利厚生費で参加代議員¥1,000を計上

臨床大会：12月8日(日)第6回神奈川県臨床作業療法大会で交流会・意見交換の会場を用意してもらう。

自己紹介、ランチョンミーティング、テーマを決めグループに分かれて意見交換を実施予定。

事業費は福利厚生費で参加代議員¥1,000を計上

課題としては福利部と予算が十分であるか相談し、会場で飲食が可能であるか確認する。

その他、代議員への説明はあくまで交流の場、意見交換の場であることとする。

山勢理事より

会場での飲食可能かの点は確認できていないが、キャパシティは収容可能と予測。テーマ決めは今後検討する必要があると考えている。

田中副会長より

前から挙がっていた事案で、代議員との交流方法など提案を頂いている。皆さんにも今後検討して頂き提案して頂けたらと思います。

澤口理事より

以前、理事会の中で会員との交流機会があまりないという話が挙がっていた。今回は代議員との交流会となっているが、今後は会員を含めて検討していけたらどうかと思う。

【その他報告部署・理事】

神保会長より

今後、野本理事にエリア化を担当して頂きたいことを相談させて頂いた。

野本理事より

エリア化の意思統一はされている。エリア化について様々な意見があるため1番の目的を明確にしていけたらと思う。

金山理事より

・事務局にNHK教育番組ふくちの制作ディレクターから作業療法士について取り上げたいと思っているが協力頂けないかと打診があった。広報部でやり取りをしている。

詳細は決まっていないが自助具、自動車運転、認知症など様々なところで協力ができる旨をお伝えしている。その際にご協力をお願いします。

・対外広報で昨年度活動していた川崎市麻生区より正式に作業療法士の講演依頼あり。認知症対策と取り組んでいきたいと思っている。順次、報告していく。

VI. 監事より

錠内監事より

お疲れ様でした。9月くらいから来期の計画も立てなければいけない中で、計画のやり残しがないように進めて行ければと思います。政治連盟の責任者の役職を頂いていたが、そちらの責任者を降りることになった。今後、神田理事に引き継いでいくかたちになるかと思っています。

野々垣監事より

お疲れ様でした。今回は総会前の一区切りだったかと思っています。今後も上手く情報共有をして進めていければと思います。また1年頑張っていきましょう。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	青木 啓一郎	印
	理事：	神田 崇央	印
	監事：	野々垣 睦美	印